

ある離党者からの公開書状

ジョー・バイデンは79,685,131票を取ってはいない——それは不可能

SOTN

November 20, 2020

親愛なる投票者仲間の方々へ、

私は、この滑稽な選挙の様子をじっと座って眺めてきましたが、もう黙っていることはできません。

最初に言うておきますが、私はジョー・バイデンに、私の一票を投じてはいません。そして私は、昔からずっと民主党支持者でした。しかし最近、私は離党しました。

バイデンは、ほとんどの私の家族や友人たちの投票を、受けていません。彼らの大半は、ずっと昔から民主党の支持者だった者です。

一人の青（民主）の郡に住む者として、私はまた、バイデンが、いつもなら民主党に投票するグループに、人気がなかったことを知っています。

一人の民主党離党者として、私の友人の多くの者は、バイデン-ハリスの投票用紙について、彼等の本当の感情を、私と共有していると思っています。

彼らのほとんどが、バイデンを不適格と思っているだけでなく、ハリスは、彼らにとって恐怖となる存在でした。

そこで2つの大きな理由で、伝統的に民主党の投票者は、これら二人の候補者には、嫌な感じがしました。現実にもそう感じました。

私はどれくらいとは言えませんが、かなり多くの、そのような民主党支持者が、バイデン-ハリスには投票しなかったと思います。あるいは彼らは、抗議の意味で、第3の候補者に投票したかもしれません。

私は、驚くほどの数の人々が、トランプに投票したことを知っています。特に、その理由は、彼の「法と秩序」についての見解です。バイデンの、「(いいようにするから) 手を出すな」というアプローチは——特に彼が、暴力的な「平和的抗議」さえ容認した場合には——多くの法を守ろうとする民主党員を、深く離反させたと思います。

その上、数多くのリベラルの有権者で、投票日に家から出なかった人たちがいます。どれくらいか全くわかりませんが。

もちろん、リベラルの中には極端にトランプ嫌いで、トランプには 10 回でも反対票を投じたいと考え、実際にそうした者たちもいたかもしれません。

にもかかわらず、極端に幻滅を感じた民主党支持者の数は、この選挙期間中に、記録破りに多くなったと思います。そんなとき、バイデンに投票する者がいたとしても、それは単にトランプに反対するためでしょう。

そこでポイントは、それほど多くの幻滅した左翼の投票者を合計したときに、バイデン票が 8 千万近くにもなるということは、不可能だということです。

バラク・オバマは、民主党と結び、多数の民主党支持者を、選挙場へ向かわせることのできた候補者でした。しかしそれでも、2008 年の彼の絶頂時に彼の得た票は、69,498,516 票にすぎませんでした。彼の 2012 年の票数は、65,915,795 になっています。そしてヒラリーは、2016 年には、65,853,514 票にしかありませんでした。

民主党の大多数の者が、バイデンに投票するときには鼻をつままなければならず、オバマに対しては、投票が待ちきれないほどだったことを考えると、何かが勘定に合わないのです。

しかし、真に決定的なのはここです：——ドナルド・トランプは、2016 年 11 月、彼が人気の絶頂にあったときでも、獲得したのは、62,984,828 票にすぎませんでした。実際、アメリカの歴史上、最も興奮した投票人口があつてさえ、彼は 6 千 300 万票しか取れず、一方、ほとんど comatose (昏睡状態、無気力) のバイデンが、すべての記録を破って、ほぼ 8 千万票を獲得したのです！ おいおい、どうなっているのだ!!!

いいですか？ 選挙調査をする人や、投票を研究する人たちは、どうしても好きなように切ったり削ったりすることができるでしょう。しかし最後の最後になって——投票日になって——**ジョー・バイデンとカマラ・ハリスが、80,000,000 以上の票を集めることは、できたはずがない。**それは数学的に不可能です。

とすると、バイデンは、何百万という不法な投票を受けたのかということです。確かに、非常に大きなその可能性があります。そしてそれが、私をして民主党を、永久に離れることにさせた、もう一つの理由です。

以上、私の誠実な思いです。

ある民主党離党者より

SOTN 編集者からの覚書：

次に載せるのは、2020 年を通じて起こった、あまり知られていない、アメリカの政治的生活の事実である。ここに掲載した公開の手紙から考えてみて、下の徹底した分析は、否定も無視もできない。これらのデータ・ポイントを、それぞれ個別に、また全体として考えてみると、明らかになってくることは、まさに「**ジョー・バイデンとカマラ・ハリスは、8 千万票もの投票を受けたはずがない**」という事実である。

.....

[訳者 Greatchain より]

ここに続けて、この公開状の内容をさらに詳しく分析する SOTN の、数頁に及ぶ事実が述べられているが、ここでは省略する。

この公開の手紙は、もともと親子代々、民主党支持者であった人が、永遠に離党すると宣言したものであり、迫力と説得力がある。率直に、バイデン-ハリスに嫌悪を覚えたと言ひ、これほどの大規模な選挙詐欺に直面して、彼（彼ら）は、どれほどショックが大きかっただろうか！

この手紙では、まだ Dominion（大規模な投票偽造機械）の発見の事実や、その調査委員会が公式に発足していること、また、この選挙詐欺集団が、約束を破って雲隠れしたことなどには言及されていない。（時間的ずれであろう。）しかしここでは、それとは独立に、過去の大統領選挙の票数を、比較してみただけで、「数学的に」あり得ないと言っている。バイデン-ハリス詐欺が、いかに途方もない事件であるかが、わかってくる。

この犯罪の中心にいるのが誰であれ、これほど人類に対する、アメリカ人民に対する、世界に対する**愚弄**は、かつてなかつただろう。トランプの率いるアメリカ人民は、そういう途方もない敵と戦っている。この手紙が言っているように、誰が見ても判断できる、バイデンという、最も墮落した、無能で不適切な人物を、大統領候補に選ぶということも、その意図は明らかに、最も傀儡として便利な人物を選ぶということであり、これも世界を敵に回す者たちの不敵極まる、愚弄というべきであろう。

——以上